少年の主張

守る責任　　別保中学校2年　吉田　茉央　　＜釧路町大会優秀賞＞

皆さんは、日本における労働者不足の現状を知っていますか。今、様々な職業で人手不足が深刻化しているのは、なぜでしょうか。一つの要因として、少子高齢化により「働ける世代」が減少していることが挙げられます。更に、残業時間の増加や低賃金、ハラスメント等による労働環境の悪化による離職者の増加なども、この問題に拍車をかけています。この人手不足が様々な社会問題につながっているケースもあり、その一つが保育士不足の問題です。では、具体的にどのような社会問題に発展しているのか、考えてみたいと思います。

一つ目は、待機児童の問題です。待機児童とは、保育園への入園を希望しているにもかかわらず、入園できない子どものことです。保育園には配置基準があり、子どもの年齢ごとに最低限必要な保育士の人数が定められています。なので、保育士が足りないと、入園できる子どもが少なくなり、待機児童が増えることになります。また、女性の社会進出が進み共働き家庭が増えていること、また、一人親家庭の増加に伴い、保育園に入園させたいと考える家庭が増えていることも背景に挙げられます。そうした中、子どもを預けられない家庭はどうしたら良いのでしょう。家庭で子どもを見なければならなくなり、仕事ができません。そうすると収入が得られず生活が困難になるだけでなく、働き手を失うことにもつながってしまいます。

二つ目は、保育施設での事故等の問題です。最近、通園バスへの子どもの置き去り事故や、保育士による子どもの虐待のニュースを耳にしますが、小さな子どもが犠牲になっていることに胸が痛みます。これらの問題にも、保育士不足が大きく関わっているのです。保育士一人で見る子どもの数が多く、命を預かる責任の重さに不安を感じる保育士もいるでしょう。人手不足によってチェック体制が甘くなることが、置き去り等の事故の要因の一つとなっていると考えられます。また、保育士の仕事は子ども達の世話だけでなく、保護者とのやり取りや行事の準備等、とても多いことも知られています。この余裕のなさが保育士を精神的に追い詰め、抵抗できない子どもを虐待する行為に発展してしまっているのかもしれません。もちろんどんな理由があっても虐待は許されるものではありません。しかし、その責任は社会にもあると私は思います。

これらについて、私たち中学生が解決することは難しいでしょう。ですが、だからと言ってそのまま他人事のように扱うことはできません。なぜなら、私の将来の夢は保育士だからです。小学校の時の職業体験で子どもたちと接する中で仕事の魅力に気づき、保育士になりたいと強く思いました。ところが、職業調べでは保育士の数が減ってきていることを知りました。仕事量は多いのにお給料は少ない現状を知って、保育士として働くメリットを感じられず、夢を断念しかけました。

しかし、短大に通っている姉が本の読み聞かせや工作、ピアノの練習等、保育実習に向けて頑張っている姿を見て、やはり保育士になりたいと思っています。

ただ、私と同じように現状を知って、目指すのをやめてしまう人も少なくないと思います。では、この現状をどう変えていけばいいのでしょうか。働き方改革や人事制度の見直しなど、国や各自治体がすべきことは、沢山あります。ですが、私たちの意思で簡単に変えられるものではありません。しかし、何もできないからと声をあげずにいると、現状が悪化してしまう可能性があります。そのため、私は少しでもこの現状を皆さんに知ってもらいたいと考えています。私が今日この場を借りてスピーチをすることも、その一つとなればと願います。

子どもたちの安全を守る責任。親が安心して働く権利を守る責任。保育士の働く環境を守る責任。それらは社会にあると私は思います。皆が安心して暮らせる社会を、私たち一人ひとりの力でつくっていきましょう。

２０２３年度 別中祭

9月22日（金）、開会式で幕開けた別中祭が行われました。今年度は、縦割りグループを基本として、ダンス・作品制作・演劇の中から自分が希望した部門に所属して、日々練習・制作を行い当日披露しました。音楽発表では、学年別のボディパーカッション、そして、久しぶりの全校合唱を体育館いっぱいに響かせていました。普段の学校生活では見ることのできない生徒個々の持ち味を存分に感じることができた2023年度別中祭でした。お忙しい中多数のご参観ありがとうございました。

●朝の欠席連絡の電話は７：３０～８：００の間にお願いします。（８：０５から職員の打ち合わせを行っているため、学級担任にお繋ぎすることが難しくなります。上記の時間内で連絡をお願いします。）

模 擬 議 会 開 催

中学生が議員を務める模擬議会が7月31日、町議会議場で開かれました。昨年はオンラインで実施でしたが、今年は4年ぶりに議場で対面方式により開催しました。本校からは、2年瀬下花帆さん、3年大端心晴さんが一般質問で登壇しました。

議会の進行を行う議長役も生徒が務め、緊張しながらも的確に議事を進めていました。質問に対して、町長や教育長が答弁を行いました。

後期生徒会役員決定

書記局	生徒会長	瀬下　花帆
	副会長	坂本　茉那
		森　梨希空
	書記	廣野　結菜
		神田　七海
常任委員長	学習文化	田中　杏
	生活環境	吉田　茉央
	保健体育	高沢　光輝
	図書	方波見　茉子
	放送	笹森　柚花